

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	実践英語II
科目基礎情報						
科目番号	6C02		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	物質工学専攻（生物応用化学コース）		対象学年	専1		
開設期	後期		週時間数	後期:2		
教科書/教材	NHK NEWS LINE 2（Kinseido） / Net Academy					
担当教員	安部 規子					
到達目標						
1. 現代社会のトレンドや諸問題、人々のライフスタイルについて、英語で理解する。 2. 特定のトピックに関する語彙や慣用表現を学習する。 3. 身の回りのトピックについて英語で紹介したり感想を言うことができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 トピックの内容が英語で理解できる。	細部に渡って理解できる。		大まかに理解できる。		あまり理解できない。	
評価項目2 使われている英語の語彙や慣用表現が理解できる。	十分理解でき、使うことができる。		ある程度理解でき、使うことができる。		あまり理解できないし、使えない。	
評価項目3 トピックに対する感想や自分の考えを英語で表現できる。	自分の感想や考えを英語で十分表現できる。		自分の感想や考えを英語である程度表現できる。		自分の感想や考えを英語であまり表現できない。	
学科の到達目標項目との関係						
JABEE E						
教育方法等						
概要	この授業では、本科で培った基礎的な英語の4技能を応用し、現代社会のトレンドや諸問題、人々のライフスタイルについて英語で理解し、そこで使われる表現を用いてアウトプットできるようになると共に、身近な出来事を英語でレポートできるようになることを目標としている。					
授業の進め方・方法	授業はテキストに沿って進める。各ユニットのトピックについて、映像と英語音声を用いてアウトラインをつかみ、さらにスクリプトを読むことで理解を深める。最後にトピックに関連する語彙や表現を学習する。ニュース教材を参考にし、身近な出来事を紹介するプレゼンテーションを行う。					
注意点	(1) 点数配分：中間試験と定期試験で70%、課題15%、Net Academy 15%で評価する。 (2) 評価基準：60点以上を合格とする。 (3) 提出物とNet Academyの進捗状況に問題がない場合、再試を行うことがある。 (4) 本科目は学修単位であるので、授業時間以外での学修が必要であり、Net Academy による自学を課題として課す。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	Orientation Unit 02 In the Pole Position. Vocabulary / Viewing the DVD / Understanding the Outline		DVD教材を視聴し、トピックに深くかかわる語彙を学ぶことにより内容を大まかに理解することができる。	
		2週	Unit 02 In the Pole Position. Reading / Listening / Writing		スクリプトを読み、特定の部分については集中的にリスニングすることにより聞き取ることができる。ニュースの中で用いられた表現を学習し、アウトプットできるようになる。	
		3週	Unit 04 In the Memory of Monty. Vocabulary / Viewing the DVD / Understanding the Outline		DVD教材を視聴し、トピックに深くかかわる語彙を学ぶことにより内容を大まかに理解することができる。	
		4週	Unit 04 In the Memory of Monty. Reading / Listening / Writing		スクリプトを読み、特定の部分については集中的にリスニングすることにより聞き取ることができる。ニュースの中で用いられた表現を学習し、アウトプットできるようになる。	
		5週	Unit 06 Floating on a Dream. Vocabulary / Viewing the DVD / Understanding the Outline		DVD教材を視聴し、トピックに深くかかわる語彙を学ぶことにより内容を大まかに理解することができる。	
		6週	Unit 06 Floating on a Dream. Reading / Listening / Writing		スクリプトを読み、特定の部分については集中的にリスニングすることにより聞き取ることができる。ニュースの中で用いられた表現を学習し、アウトプットできるようになる。	
		7週	Unit 08 Sorting It Out. Vocabulary / Viewing the DVD / Understanding the Outline		DVD教材を視聴し、トピックに深くかかわる語彙を学ぶことにより内容を大まかに理解することができる。	
		8週	Unit 08 Sorting It Out. Reading / Listening / Writing		スクリプトを読み、特定の部分については集中的にリスニングすることにより聞き取ることができる。ニュースの中で用いられた表現を学習し、アウトプットできるようになる。	
	4thQ	9週	中間試験		これまでの範囲について、その内容と英語表現の両面から理解できていること。	
		10週	Unit 10 Peer Group Consumption. Vocabulary / Viewing the DVD / Understanding the Outline		DVD教材を視聴し、トピックに深くかかわる語彙を学ぶことにより内容を大まかに理解することができる。	
		11週	Unit 10 Peer Group Consumption. Reading / Listening / Writing		スクリプトを読み、特定の部分については集中的にリスニングすることにより聞き取ることができる。ニュースの中で用いられた表現を学習し、アウトプットできるようになる。	
		12週	Unit 12 New Take on Tatami. Vocabulary / Viewing the DVD / Understanding the Outline		DVD教材を視聴し、トピックに深くかかわる語彙を学ぶことにより内容を大まかに理解することができる。	

		13週	Unit 12 New Take on Tatami. Reading / Listening / Writing	スクリプトを読み、特定の部分については集中的にリスニングすることにより聞き取ることができる。ニュースの中で用いられた表現を学習し、アウトプットできるようにする。
		14週	Unit 14 Tanzanian Students Discover Japan. Vocabulary / Viewing the DVD / Understanding the Outline	DVD教材を視聴し、トピックに深くかかわる語彙を学ぶことにより内容を大まかに理解することができる。
		15週	Unit 14 Tanzanian Students Discover Japan. Reading / Listening / Writing	スクリプトを読み、特定の部分については集中的にリスニングすることにより聞き取ることができる。ニュースの中で用いられた表現を学習し、アウトプットできるようにする。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	

評価割合

	試験	プレゼンテーション	Net Academy	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	15	15	0	0	0	100
基礎的能力	70	15	15	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0